

地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	もりもと としお	
氏名	森本 登志男	
所属・役職	旭川市 最高デジタル責任者 (CDO) キャリアシフト株式会社 代表取締役 元佐賀県庁 最高情報統括監 (CIO)	
活動拠点	東京を拠点に、九州から北海道まで、多くの地域からの招聘を受け、テレワークの導入支援、地域創生の仕組みづくり、観光事業などに携わっている	
略歴	<p>1995年6月 マイクロソフト株式会社に入社。 Office のマーケティング、米国本社駐在などを経て、2003年から事業開発室長として、「ICT とマーケティング手法を活用した」地域活性化を支援。 2004年からは、徳島県上勝町で、ICT 利活用による産業振興と後継者の確保に取り組み、若者層を中心とした移住者や交流人口の増大に貢献。約5年にわたるこの取組みが評価され、2010年に上勝町から感謝状授与。 2008年から、総務省の地域情報化アドバイザーの委嘱を受け、13年間延べ80箇所を超える派遣依頼を受け、それぞれの地域にて講演や委員会のアドバイザーなどを担当。現在も継続中。2016年からはテレワークマネージャーの委嘱も受け、5年間の派遣回数は110回に及ぶ。(2021年4月現在) 2011年4月から2016年3月までの5年間、佐賀県の最高情報統括監(CIO)として地方自治体の常勤職員を経験。この間、地方行政の現場でのICT利活用に取り組み、2014年から県庁の全職員(約4000人)を対象としてテレワークを導入するなどの成果を上げる。 2015年から内閣府 公共サービス・イノベーションプラットフォーム外部有識者。 2017年にテレワークが拓く将来像を提案した著書『あなたのいるところが仕事場になる』を上梓し、キャリアシフト株式会社を創設。より多くの自治体や企業に向けて、テレワーク導入支援・コンサルティングを行うだけでなく、地方創生の分野においても、地域活性化に向けたプロジェクトや観光事業に携わっている。 2019年 G20 観光大臣サミット・官民セッションにおいてモデレーターを務める。</p>	
地域情報化の専門分野・技術	<p>テレワーク、働き方改革 地方自治体の ICT を用いた経営改革 地場産品発掘・ブランド化 サテライトオフィスなどでの企業立地促進定住促進 観光振興・交流・チャットボット 街なか再生・にぎわい創出</p>	
専門分野	<p>計画策定支援(地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX推進計画等) 人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 人材(外部人材活用) 自治体システムの標準化・共通化 行政手続オンライン化 自治体システム調</p>	

	達/地域情報プラットフォーム デジタルデバイド対策 働き方 RPA導入 医療・介護・健康 農林水産業 地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援） 観光 スマートシティ ICT 活用広報
自治体向けメッセージ	東京での民間企業勤務と、地方での自治体職員としての勤務経験から、「東京と地方」・「民間企業と行政」という、それぞれ大きなギャップのある立場を熟知し、実効性のある地域課題の解決に取り組んでいます。これまで携わって来た事例を紐解きながら、それぞれの地域の持つ力を発揮するお手伝いをしてまいります。
関連サイト	https://www.careershift.jp/
地域情報化に関する実績	<p>これまでの経験業務・研究活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクロソフト株式会社での製品マーケティング・自治体営業・地域活性化支援。 ・佐賀県庁での、地方行政における ICT 利活用。（県庁業務の全分野） ・地方自治体に対して、情報政策・情報発信・働き方改革・ブランディングなどの分野で、非常勤職員・外部アドバイザー・委員などの形で関わり、戦略策定や効果的な実践に向けての助言。直接、事業推進にあたることも。 ・地域の各種団体から、地域創生・街なか活性化・働き方改革などのテーマで、委員会への参加や講演・セミナーの依頼を受けて、各地域の課題解決にあたる。 ・企業から、働き方改革推進の支援の依頼を受けて、現状の業務の分析・テレワークの導入の支援を行っている。 ・従来の雇用形態では働くことが難しかった方々に対して、テレワークを用いて活躍の場が広がる、雇用主・働き手の両面に向けた啓発活動と、実践の場の創出を行っている。 ・著書 「あなたのいるところが仕事場になる ～「経営」「ワークスタイル」「地域社会」が一変するテレワーク社会の到来～」（大和書房）
	<p>これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2004～09年 徳島県上勝町の ICT 戦略の立案と実践。 ・2008～現在 総務省の地域情報化アドバイザーの委嘱による派遣実績 60 回以上 ・2011～16年 佐賀県最高情報統括監(CIO)として、システム関連予算の大幅な削減 ・2015年、同じく佐賀県にて、政策へのデータ利活用推進の仕組みを創出（2016年、第1回 総務大臣賞受賞） ・2014年、同じく佐賀県にて、佐賀県庁の約4000人の全職員を対象とした、テレワークの導入 ・2013年、同じく佐賀県にて、「恋するフォーチュンクッキー 佐賀県庁 Ver. [AKB48公式]」の動画配信により、230万再生を得るとともに、追従する自治体や企業が続出する全国的なムーブメントに発展。都道府県ブランド力調査において、万年46位の佐賀県を43位に引き上げる ・2015年度 九州総合通信局長賞 受賞(個人) ・2012年、佐賀県鹿島市において「鹿島酒蔵ツーリズム®」の起ち上げに参画。現在（2018年）には集客数が当初の約3倍、約9万人のイベントに成長中 ・2015年、佐賀県多久市の商店街中多久マーケットの活性化に携わり、1年間で店舗数50%増を達成 ・2016年、総務省のテレワークマネージャーの委嘱による派遣実績13団体。テレワークのトライアル実施などに導く ・2017年～現在、キャリアシフト株式会社創設。より多くの自治体、企業に向けて働き方改革支援・テレワーク導入支援を行うだけでなく、地方創生にも力を入れる。SNSをシティプロモーション・移住施策に結び付けた「津山市 SNS 合戦」、若者をはじめ住民のニーズを引き出し、課題解決していく「境町街なか賑わい事業」、テレワークや移住を目指す「中津市テレワーク推進協議会」ほか、地方自治体のアドバイザー業務に携わっている

